

## 【自転車道等の設計基準解説】

【A5判 73頁 本体価格 1,200円】

昭和49年10月14日初版第1刷発行

平成22年4月20日 第14刷発行

わが国の自転車保有台数は、昭和40年以降急激に増加し、建設省を中心に自転車道整備の気運が高まっていました。更に、昭和47年度に建設省は、当協会に対して「道路技術基準策定のための調査」を委託し、当協会では、「自転車道技術基準調査特別委員会」を設置して調査研究を進め、昭和48年3月に「自転車道技術基準案」として報告しました。建設省は、この報告をもとに取りまとめを行い「自転車道等の設計基準について」（昭和49年3月5日付都市局長・道路局長通達）として基準化しました。

本書は、その基準の実施に当たっての運用等、広く一般の参考とするため解説を加えたものであります。

### 目 次

第1章	総 則	1
1-1	本書の目的	1
1-2	適用の範囲	1
1-3	用語の定義	1
1-4	自転車の種類と規格	4
第2章	自転車道等の計画	8
2-1	計画の基本	8
2-2	調 査	13
2-3	路 線 計 画	14
第3章	自転車道等の交通容量・設計速度等	21
3-1	自転車道等の交通容量	21
3-2	設計速度	25
第4章	横断面の構成	27
4-1	通行帯の幅員	27
4-2	路 肩	34
4-3	建 築 限 界	38
第5章	線形及び視距	40
5-1	曲線半径及び最少曲線長	40
5-2	曲線部の片勾配	41
5-3	曲線部等の幅員の拡幅	42
5-4	視 距	42
5-5	縦断勾配	43
5-6	縦断曲線	45
第6章	交差接続部	46
6-1	平面交差又は接続	46

6-2	立体交差	48
第7章	舗装及び排水施設	52
7-1	舗装	52
7-2	排水施設	54
第8章	橋・高架の自転車道等	55
第9章	安全施設及び附属施設	57
9-1	交通安全施設	57
9-2	道路標識等	59
9-3	駐車施設	61
9-4	トンネルの附属施設	65
(資料)	技術基準作成のための実験結果資料	67